

財政収支見通し（粗い試算）

平成27年度決算見込を発射台にして、中長期的な財政状況の試算表を作成。
 なお、この試算は不確定要素を多く含んでおり、将来に向かって相当の幅をもってみる必要あり。

（単位：百万円、%）

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
歳入	地方税	533	525	515	505	480	470	461		
	地方交付税	1,321	1,394	1,381	1,364	1,358	1,367	1,367		
	地方債	336	428	310	1,529	1,402	412	400		
	その他(各種交付金等)	814	804	939	1,569	1,370	901	901		
	合計(A)	3,004	3,151	3,145	4,967	4,610	3,150	3,129		
歳出	人件費	590	679	668	641	668	673	723		
	物件費	510	605	628	643	668	699	715		
	扶助費	295	199	228	242	257	272	288		
	補助費等	209	281	416	460	460	460	480		
	公債費	309	318	312	312	314	342	373		
	繰出金	378	415	411	411	411	411	411		
	普通建設事業費	231	299	219	2,060	1,670	230	230		
	その他	340	209	131	114	114	114	114		
	合計(B)	2,862	3,005	3,013	4,883	4,562	3,201	3,334		
施策見直し・行革取り組み(C)		行革取り組みによる財源対策を見込む。								
単年度不足額 (A)-(B)+(C)		142	146	132	(▲266)	134	(▲302)	98	▲1	▲155
積立金現在高		1,525	1,788	1,920	1,654	1,352	1,351	1,196		
健全化指標	実質公債費比率	13.1	11.5	10.9	10.8	10.3	10.4	10.8		
	将来負担比率	17.7	11.1	5.6	106.6	190.9	199.9	217.2		

※平成29年度と30年度に財政基金より4億円ずつ取り崩しを行う予定。形式収支の()の数字は取り崩しを行わない場合。

代替案①	実質公債費比率	13.1	11.5	10.9	10.8	10.1	10.0	10.1
	将来負担比率	17.7	11.1	5.6	65.4	106.2	109.6	128.0

代替案②	実質公債費比率	13.1	11.5	10.9	10.8	10.2	10.2	10.4
	将来負担比率	17.7	11.1	5.6	72.4	120.7	128.5	143.5